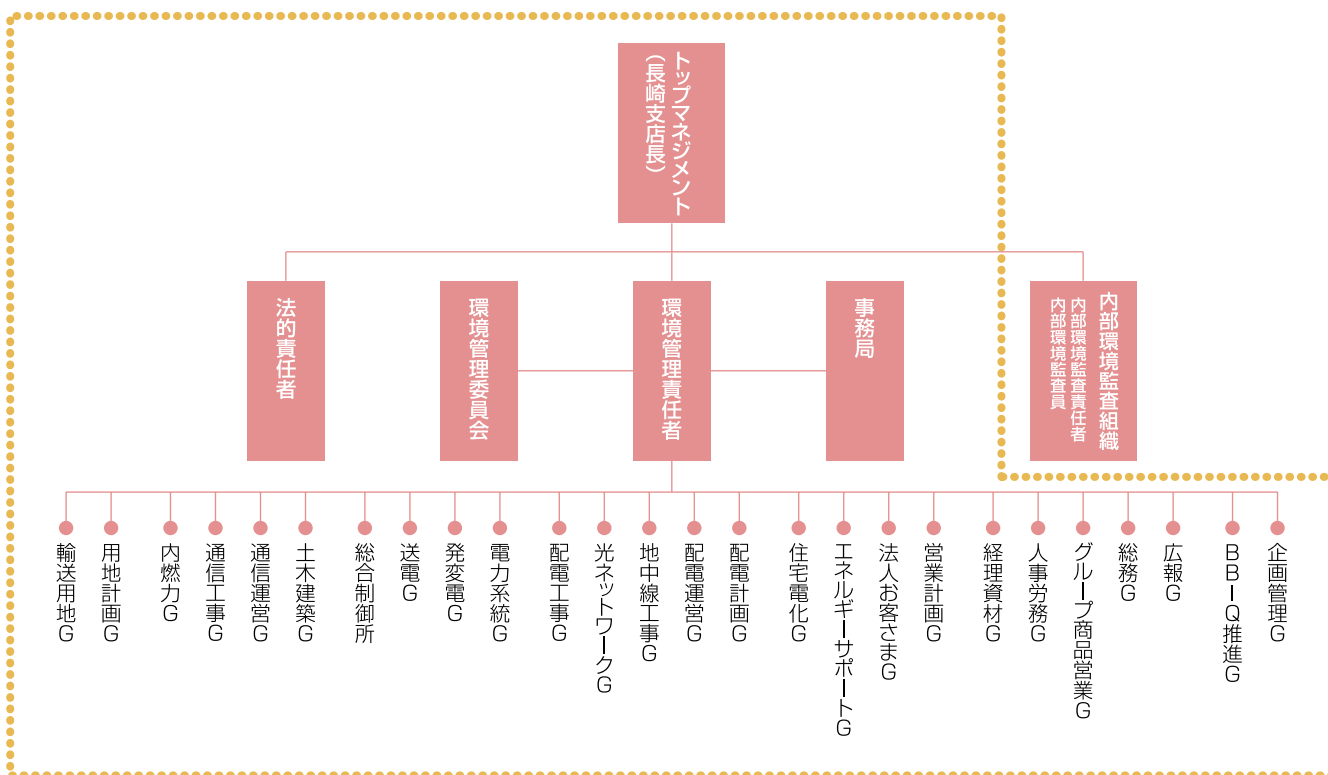


第2章 / 環境活動のしくみ

1. 環境マネジメントシステム

(1) 運用体制

支店長をトップとして支店長が任命したEMSに関する責任者である環境管理責任者のもと、支店職場で業務する所員が協力して環境活動を実施しています。

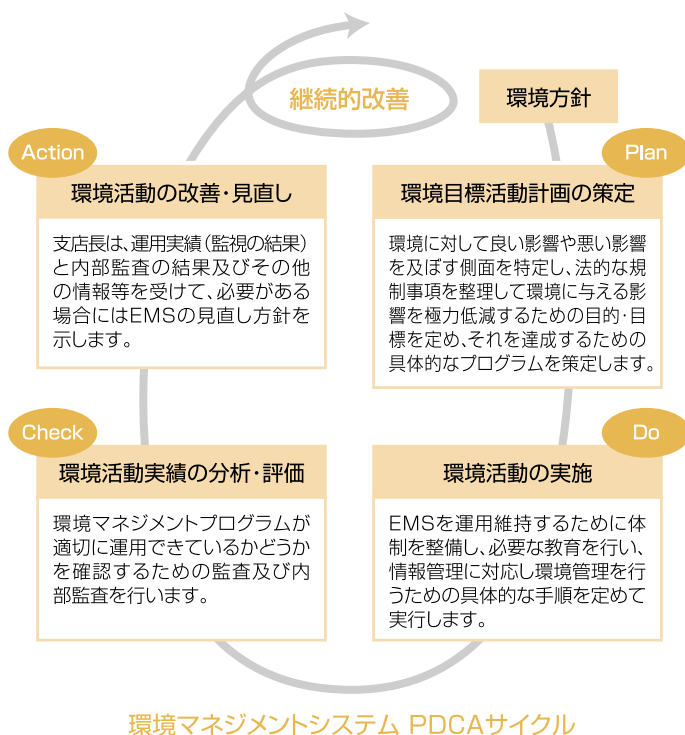


(2) 環境マネジメントシステムの導入と ISO14001 認証取得

長崎支店では、事業活動全般にわたって企業の成長と環境を両立させる「環境経営」を推進していくために、環境保全活動を継続的に実施、改善するための、体制や手順を含む体系的な仕組みである、環境マネジメントシステム (EMS) を導入しています。

EMSで環境保全活動についてPDCAサイクルを繰り返すことにより、支店所員の環境に対する意識を高め、継続的な環境改善活動に繋がっています。

このシステムを2002年3月に導入し、7月に国際規格であるISO14001の認証を取得しています。



(3) 内部環境監査

支店長が任命した「内部環境監査責任者」を中心とした「内部環境監査組織」が、環境監査を年1回実施しています。この監査では、長崎支店における環境管理がISO14001規格の要求事項に適合し、適切に実行・維持されているか確認しています。また、監査による指摘事項については、都度見直しを行い、継続的なシステムの改善に努めています。

内部環境監査責任者から一言

長崎支店EMSの内部環境監査については、内部環境監査員研修を修了した者、かつ、監査に当たっては監査対象箇所に所属していない者が行うなど、その能力や客観性、独立性を保ち実施しています。

監査は原則として年1回実施しており、「ISO14001の要求事項が十分理解されているか」「法規制を遵守しているか」「前回監査の指摘事項が改善されているか」などをチェックしています。

2006年度の内部環境監査は、2人が1チームとなって4チームで実施しました。各チームの監査能力レベルが高くかつ均一である必要があり、事前の打合せやチェックリストの作成に十分な時間をかけて行うことがいかに重要であるか痛感しました。

事業所をめぐる環境や業務内容は、大きくはないにしても必ず変化しています。

過去の監査の結果にとらわれることなく、現時点での状況をしっかり把握して監査を実施することを心がけています。また、単に不具合を見つけるだけでなく、工夫しうまく機能していることについては他の部門へ水平展開するなど、良い面での評価も積極的に行っていくべきであると考えています。



長崎支店内部環境監査責任者／生野 義伸

(4) 環境教育

環境保全の重要性及びEMSを理解して活動していくために、EMSに関する教育や、各所員に応じた各種の教育・訓練を定期的実施しています。

また、設備事故や自然災害に起因する当社施設の被害は、周辺環境に影響を与えることも考えられるため緊急時を想定した訓練を定期的実施しています。

※1 EMS内容教育

EMSに関しての所員の力量を確保するために行う教育で、年に1回全所員を対象にEMSの必要性、目的・目標の周知などを行っています。

※2 内部環境監査員養成研修

EMSのシステムが的確に運用されているか確認するための内部監査を実施する上で、監査員の力量を確保するために実施している研修です。

※3 ISO関係社外研修

専門的な知識を要するISOの要求事項を確実に理解するために、ISO認証機関が実施している研修に参加しています。

主な教育訓練

自覚教育	適切な訓練	力量の確保	項目	頻度	2006年度実績
○	—	—	EMS内容教育*1	1回/年	5~6月実施
○	—	○	環境管理責任者EMS専門研修	1回/年	2005年度受講済
○	—	○	環境担当者EMS専門研修	1回/年	9月受講
○	—	○	環境管理委員教育	1回/年	4月実施
—	○	—	緊急事態対応訓練	都度	11月実施
—	—	○	内部環境監査員養成研修*2	都度	9~11月受講
○	—	○	ISO関係社外研修*3	都度	10月受講

(5) 外部審査

2002年7月のISO14001認証取得以降、毎年、第三者の審査機関からEMSが適切に実行され、維持されていることを定期審査により確認を受けています。

審査での指摘事項については、都度見直しを行い、継続的なシステムの改善に努めています。

さらに、認証の有効期間が3年であることから3年目である2005年度には更新審査を受審し更新継続しています。

外部審査機関による受審状況

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度
認証取得	○				
更新審査				○	
定期審査		○	○		○

2. 環境目的・目標の計画と実績

環境管理活動上、支店が重点的に取り組むべき課題に対して、目的・目標を定め環境活動に取り組んでいます。

(1) 2006年度の実績と評価

2006年度EMS目標の取り組み結果

	活動内容	目標値	実施方法	実績
省エネ・省資源への取り組み	社用車燃料消費率の向上	13.08km/ℓ (2005年度実績から 0.1km/ℓ以上向上)	・公共交通機関の利用 ・電気自動車の優先使用 ・エコドライブの励行	13.36km/ℓ (達成率:102.1%)
	電気自動車の活用促進	稼働率を60%以上とする	・電気自動車の活用	60.3% (達成率:100.5%)
	コピー用紙購入量の削減	12,586kg (2005年度実績から 240kg以上削減)	・両面印刷機能の有効活用 ・会議時のプロジェクター使用 ・裏面コピー用紙の優先使用 ・不必要なプリントアウトの防止	12,830kg (達成率:98.1%)
	省エネコンサル活動推進	省エネコンサルを 27ポイント以上とする	・省エネコンサルの実施 (コンサルの内容によって点数を設定)	28ポイント (達成率:103.7%)
	デマンドコントロール*1の普及促進	紹介実績を45件以上とする	・デマンドコントロールの紹介活動	43件 (達成率:95.6%)
	エコキュート*2の普及促進	エコキュートの販売促進活動 (実績管理)	・エコキュートの販売促進活動	3,683件
	誤検針減少対策の指導	低圧誤検針率 0.003% 高圧誤検針件数 9件	・誤検針減少対策指導	低圧:0.003% 高圧:7件 (達成率:100%・128.6%)
	停電事故発生件数の減少指導	低圧停電事故 1,692件以下 48分/件以下 高圧停電事故 47件以下 85分/件以下	・停電事故発生件数減少指導	低圧:2,070件・71分 (達成率:81.7%・67.6%) 高圧:72件・89分 (達成率:65.3%・95.5%)
循環型社会への取り組み	産業廃棄物の共同回収時の分別の徹底	産廃リサイクル率を 74%以上とする	・共同回収時の分別徹底	92.3% (達成率:124.7%)
	使用済蛍光管リサイクルの普及促進	紹介実績を35件以上とする	・使用済蛍光管リサイクルの紹介活動	10件 (達成率:28.6%)
地域社会との協調	植樹活動の実施	植樹を1万本以上とする	・植樹活動	10,000本 (達成率:100%)
	大学生への「エネルギーと環境活動」講座による理解活動	講座受講者を 700名以上とする	・大学生への講演会実施	816名 (達成率:116.6%)
	原子力発電所の必要性に対する理解活動の促進	原子力発電所見学者を 3,250人以上とする	・原子力発電所見学会	4,440人 (達成率:136.6%)

※1 デマンドコントロール 電力の利用状況を把握し、負荷の平準化を図り、電力ピークを抑える装置。

※2 エコキュート 熱交換機で大気中の熱を汲みあげ、コンプレッサで熱エネルギーをつくる環境にやさしく高効率なヒートポンプ式給湯器。

※3 エコライト 手動発電、充電方式やLED(発光ダイオード)を採用し、省エネ・長寿命を特徴とするライト。

(2) 2007年度の計画

2007年度の計画は以下のとおりとし、活動することとしました。

2007年度EMS目標

	活動内容	目標値	実施方法	備考
省エネ・省資源への取り組み	社用車燃料消費率の向上	13.46km/ℓ (2006年度実績から 0.1km/ℓ以上向上)	・公共交通機関の利用 ・電気自動車の優先使用 ・エコドライブの励行	2006年度実績が 目標未達のため再度実施
	コピー用紙購入量の削減	12,586kg (2005年度実績から 240kg以上削減)	・両面印刷機能の有効活用 ・会議時のプロジェクター使用 ・裏面コピー用紙の優先使用 ・不必要なプリントアウトの防止	
	省エネコンサル活動推進	省エネ診断を 5件以上とする	・省エネ診断の実施	
	デマンドコントロールの普及促進	紹介件数30件以上とする	・デマンドコントロールの紹介活動	
	エコキュートの普及促進	エコキュートの販売促進活動 (実績管理)	・エコキュートの販売促進活動	
	エコライト ^{※3} の普及促進	紹介件数を60件以上とする	・エコライトの販売促進活動	
循環型社会への取り組み	産業廃棄物の共同回収時の分別の徹底	産廃リサイクル率を 95%以上とする	・共同回収時の分別徹底	
	使用済蛍光管リサイクルの普及促進	紹介実績を20件以上とする	・使用済蛍光管リサイクルの紹介活動	
地域社会との協調	植樹活動の実施	植樹を1万本以上とする	・植樹活動	
	大学生への「エネルギーと環境活動」講座による理解活動	講座受講者を 700名以上とする	・大学生への講演会実施	
	各種清掃活動を通じた地域環境美化の推進	清掃ボランティアの実施 (実績管理)	・清掃ボランティアの実施	
	環境アクションレポート(長崎支店版)を活用した環境活動のPR	環境活動PR (実績管理)	・環境アクションレポート(長崎支店版)を活用した環境活動のPR	

◎2007年度は2006年度の目標値の達成度合い、支店職場の業務で環境に影響が大きい項目、所員が環境活動と認識しやすい項目などを総合的に勘案し目標を見直しました。